

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第14回放送の概要 (2010年2月27日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)
コアラさんの地域瓦版
アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM)「7つ 8つ 9つ とう といち」でおなじみの「十一の奈良漬」は、「灘の生一本」の酒粕に漬け込み仕上げた自慢の味です。食事の締めくくりに、サンドウィッチや巻寿司などにも御愛用ください。「十一の奈良漬」黒田食品さまの御協力を頂きました。

(CM)2010年、おかげさまで創業120年を迎えることができました。ナチュラルであること、ヘルシーであること。そして安全で安心できる製品であること。それは、今も昔も変わらない共進牛乳のモットーです。株式会社共進牧場様のご協力をいただきました。

1. オープニング

今朝沖縄で震度5の地震があったが被害はあまりないようでよかった。11日に長田区役所主催の高取山耐寒スタンプテリングに参加した。区役所をスタートし長田神社を通り丸山登山口から六甲縦走を逆行するように高取山を登り、育英、高取団地、蓮池小学校を通り区役所にゴールするルートである。ゴールすると完歩賞とバッチと記念の長田の花のサルビアをプリントしたタオルのほかにぜんざいがいただける。これまでに4回参加しているので来年も参加したいと思っている。

2. ゲストコーナー：社会福祉法人神戸福祉会母子生活支援施設ライオンズファミリーホーム

施設長 大東千鶴代さん (52 陽会)

(1) 楠幼稚園、平野小学校、湊中学、兵庫高校から神戸大学教育学部へ行った。卒業後大阪の茨木で小学校の先生をした。高校時代の一番のハイライトは、2年生の時に女生徒が少ないので1, 2, 3年生の女子に対し、体育祭のダンスを作って指導するよう体育の先生から頼まれた。夏休みにダンスや音楽に秀でたスタッフを集め、自分たちで振り付けを考え夏休み中は勉強をせずに没頭した。仲間の大切さ、ひとつのものをゼロから作り上げる楽しさを覚えた。30, 31の二日間徹夜で宿題を仕上げた。2学期が始まると振り付けを全学年の体育の時間に指導した。合同練習後体育祭で発表した。縦横の人間関係のつながりがとても大事であることを勉強した。

運動は体育の教師の免許も持っており大変得意で、生まれてから今までかけこで負けたことはない。常に一等賞で兵庫高校は当時文房具などの賞品が出ていたので、各種リレーに全部出て両手いっぱいにもらって帰った。

(2) 大学で知り合ったご主人と結婚し、子供ができた後も保育所に預けながら教師を続けた。

ご主人の仕事の関係で、東京、インドネシアのジャカルタに行った。当時ジャカルタの日本人会は1万人、婦人部は1500人ほどで副部長をしていたが、現地では金儲けだけでなく社会貢献する、汗をかく奉仕活動ということでユニセフのカード販売、チャリティボックスなどで集めたお金で施設にお米やミシンを持って行ったりした。婦人部は多才な人が多く、お茶会を開催したりアートフラワーの得意な人は作品をチャリティバザーで販売するなどの資金活動をしてきた。自分たちができるところから一つ一つ積み上げていくことの大切さ、現地の人の中に溶け込んでいく大切さを学んだ。日本人は恵まれている。当時メイドさんの給料は1ヶ月5000円ほどで日本人は余裕のある生活をしていたので語学、編み物などの特技を発揮して奉仕活動をしている人もいた。

(3) ジャカルタから帰国後の翌年震災があった。ジャカルタの奉仕活動の経験もあり自宅は北区で被害は少なかったので後方支援部隊として活動しようと思い、近所のジャスコが開店すると同時にご主人とカセットボンベなどあらゆるものを購入し、食べ物を作り、同級生や公園などに届けた。翌年ご主人が癌で亡くなり、これからどうしようか考えていたとき誘いがあり、1999年4月1日に神戸フェニックスライオンズクラブを初代会長として立ち上げた。母子生活支援施設に関わったきっかけは、ライオンズクラブにおられた神戸福祉会多久理事長の縁でライオンズファミリーホームの評議員や理事をすることになり、ホームの活動に参加するようになったことからである。ライオンズファミリーホームはもとは会下山にあった神戸母子寮が震災で全壊し、職員1名、母親2名、子供2名の5名が亡くなり、母子寮の職員が再建の資金集めで走り回っていたとき、ライオンズクラブの多久理事長が阪神淡路大震災災害対策特別委員会の委員長で義援金支援の申し入れをした。全国のライオンズクラブが集めた義援金、国庫補助金および不特定多数の寄付をもとにライオンズファミリーホームとして再建された(平成9年4月1日)。会下山の母子寮跡にはファミリーホームのお母さんや地域の障害者の働く場所としてクッキー工房が作られている。現在施設には20世帯、20名のお母さんと26名の子供たちが生活し、8人の職員がお世話している。施設で生活されているのはDVのため身も心もズタズタになったお母さんが子供を連れて駆け込んできた方で、そのお母さんが自立できるように仕事をさがすこと、離婚が成立しておらず精神的にも苦しい、借金を抱えた方もおられ、そのような問題を一つひとつクリアし、自立していただくよう支援することであるが、厳しい経済情勢の折仕事がない、ハローワークに何度行っても試験に通らないなど多くの悩みがある。

今後力を入れたいスペシャルオリンピックスについては、ライオンズクラブの女性会員委員長を3年間している時に名誉会長の細川元首相夫人の話を聞き感動したことをきっかけに、知的障害者を運動療法で支援していくため、まずライオンズクラブに広げ、次に神戸市民に、次は近畿全体に広げる目的でフェスティバルや講演会、シンポジウムを開催する活動を行っているところである。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

明日28日は下町レトロ首っ丈の会のレトロツアー「レトロな長田、丸五市場と鉄人28号」ということで開催される。申し込みは078-671-1939の淡路屋さんに申し込んでください。昨日より三宮周辺で神戸ファッションウィークのイベントとして服のほかアート、ヘアスタイル、小物などショーやイベントがあります。3月7日まで須磨離宮公園で梅見会が開催されている。早咲きの梅が見ごろを迎えています。3月に入ると森林植物園で春來祭が開催され、たらのみや福寿草が見られます。

4. 来月のゲスト

兵庫高校OB吹奏楽団にどのような活動をしておられるかお聞きする予定。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで: buyou49@nifmail.jp